

自分や友達が好き、柳校が好き、
柳のまちが好きな子ども



学校だより
平成30年 10月 18日号
北九州市立大里柳小学校

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数, 理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

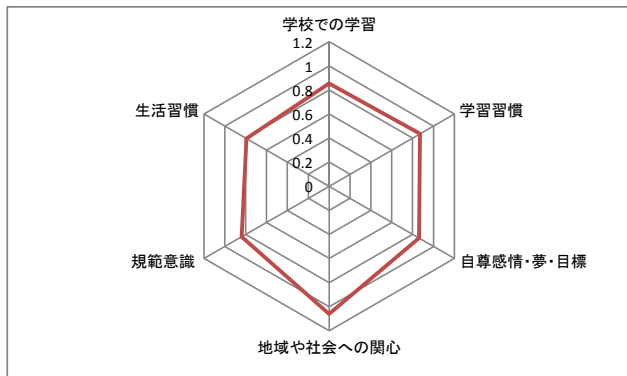
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	・すべての領域で全国平均を上回っており、無回答率も低かった。 ・特に「読むこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域の正答率が全国平均を大きく上回っていた。	上回っている
国語B	・すべての領域で全国平均を上回っており、無回答率も低かった。 ・特に「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の領域の正答率が全国平均を大きく上回っていた。	上回っている
算数A	・すべての領域で全国平均を上回っており、無回答率も低かった。 ・特に「量と測定」と「数量関係」の領域の正答率が全国平均を大きく上回っていた。	上回っている
算数B	・すべての領域で全国平均を上回っており、無回答率も低かった。 ・特に「数と計算」と「数量関係」の領域の正答率が全国平均を大きく上回っていた。	上回っている
理科	・すべての領域で全国平均を上回っており、無回答率も低かった。 ・特に「生命」と「地球」の領域の正答率が全国平均を大きく上回っていた。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

・「今住んでいる地域の行事に参加していると思う」「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」と答えた児童が全国平均を上回り、地域や社会への関心が高まってきた。
・「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」「家で宿題をしている」「学校の授業以外で1時間以上勉強している」と答えた児童が全国平均より低かった。
・「自分にはよいところがあると思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童が全国平均より、低かった。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・まず、自分で考えてから、話し合い活動を積極的に行うことで、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようにする。(全校)
- ・理科の学習では、「めあて」「予想」「結果」「考察」「まとめ」「振り返り」を大事にした授業を行うにする。(3年～6年)

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・帰りの会等で、児童のよさを認め合う時間を確保し、自尊感情が高まるようにする。(全校)
- ・家庭学習ハンドブックを月始めの1週間で確実に回収し、賞賛・支援を行い、家庭学習への意欲を高めるようにする。(全校)
- ・自主学習ノートの取組を奨励し、児童の取組を確実に評価することで、学ぶ習慣が身に付くようにする。(2年～6年)